

### 1. 日時・場所

令和2年 2月5日（水） 18:00～ 本校応接室

### 2. 出席者

学校運営協議会委員（6名中4名出席）

会長 辻 量子  
副会長 岩野 豊治  
委員 大堀 彰子  
委員 歌野 玲子

学校関係者（7名）

准校長 西川 修  
教頭 長子 等  
教諭 神田 大地  
教諭 牧 友祐  
教諭 川端 祥次  
教諭 野口 結衣  
教諭 坂下 一輝

### 3. 議事内容

(1) 会長挨拶

(2) 第2回学校運営協議会以降の本校の動向

[教務主任より]

・後期特別指導実施報告

対象者は、1年生19名・2年生11名・3年生8名・4年生0名

・12月授業参観

7名の保護者が来校した。（6月は14名）

・令和2年度行事予定

新入生歓迎会と体育祭を合わせてスポーツ大会を実施する。

・令和4年度新学習指導要領への対応

新カリキュラムを作成している。

[進路指導主事より]

・令和元年度進路希望状況

1月22日時点で、進学および就職を希望するもののうち未定者は7名。  
一人ひとりのペースに合わせて指導を行っている。

- ・令和元年度の進路指導部の取り組みについて  
進路説明会（5回）、キャリア教育（3回）、保護者向け奨学金説明会、  
ハローワーク求人票説明会、履歴書講座を実施。

[生徒指導主事より]

- ・令和元年度 懲戒指導のまとめ  
10月以降、停学指導となる懲戒指導は0件である。
- ・防災講習アンケート結果について
- ・保健行事について
- ・健康診断結果について
- ・健康教育について

[教頭より]

- ・令和元年度高等学校定時制の課程生徒の生活実態調査について
- ・令和元年度後期授業アンケート結果の報告  
教職員の努力により、本年度の学校平均は昨年度より、各項目で平均4.32  
ポイント上昇した。
- ・令和元年度学校自己診断アンケートについて
- ・修学旅行についての概要と行程の報告  
令和元年11月20日（水）～11月22日（金）に長崎方面へ。  
生徒17名が参加。
- ・全国定時制通信制生徒生活体験発表会について  
令和元年11月17日（日）本校の2年生が読売新聞社賞を受賞。
- ・学校説明会について  
第2回：令和2年1月16日（木）に実施した。  
参加者数は20名（本人8名、保護者9名、教員3名）であった。

#### 4. 協議内容

##### (1) 資料④「たんぼぼ子ども食堂体験学習」について

委員A：全体研修の中に子ども食堂の見学とあったが、これは教員が参加したものか。

事務局：教員向けに行われた研修である。

委員A：堺市にも数か所「子ども食堂」が設置されている。ものが食べられないほどの貧困層は減っているが、ネグレクトのような、子どもに十分な支援がされていない家庭が増えている。「子ども食堂」のような、支援を受けられる場を知らない人も多くいる。定時制高校も、これまで学びたくても学ぶこと

ができなかった人の再スタートの場として、多くの人に知ってもらえたらよい。在籍している生徒も、いろんな体験をして、次に繋がるような楽しい思いをしてほしい。

委員 B：定時制高校は間口が広く、いつでも学び直しができる場、受け入れてもらえる場であり、安心感がある。

委員 C：みんなのセーフティーネットとなっている。定時制高校も「学び直しの場」として、各校それぞれの特性がもう少しあってもよいのかもしれない。

委員 A：以前までは自動車通学が可能であったが、最近では禁止されている。仕事をしている人も通いやすくする為に、自動車通学についてももう少し臨機応変に対応できれば良いのではないか。

事務局：学校の施設を私的に使用することについては規則が厳しくなっている。特別な事情がない限りは近隣の駐車スペースを使用するように指導している。

## (2) 資料⑧「令和2年度行事予定」について

委員 C：行事を精選し、来年度から新入生歓迎会と体育祭を合わせて、5月末にスポーツ大会を実施することになっている。5月末という時期は適正だと思う。スポーツ大会も探究活動を行うということだが、どのように取り込むのか。

事務局：スポーツ大会は1時限目に授業を行ったあとに、総合・HR×2とし、総合の時間にはクラスで協議内容などを話し合う時間を設ける。

## (3) 資料⑫「高等学校定時制の課程 生徒の生活実態調査」について

委員 A：アンケート結果から16歳や17歳の生徒が増えている。昔はもう少し成人の生徒も多くいたが、年齢構成が変わることで生徒の質も変わっているだろう。これは先生方の中学校訪問の成果ではないか。

事務局：中学校訪問の成果が出てきていると実感している。

委員 D：若い世代の生徒は特に変化に敏感な子が多い。「今何をやっているか」ということを理解させ、連続性をもたせることが必要に感じる。保育園訪問などのボランティア行事に参加して、感謝される経験をすることで次回の参加意欲向上、さらには就労意欲にも繋がると思う。

## 5. 議決事項

- ・平成31年度 学校経営計画及び学校評価（案）について
  - ・令和2年度 学校経営計画及び学校評価（案）について
- 以上について学校運営協議委員の承認を頂いた。